

収益事業等

1 広島平和記念資料館での収益事業

原爆の惨禍や平和の大切さを伝える図書等の出版・販売及び入場者の利便を図る音声ガイドの貸出などを行っています。

(1) 出版事業

原爆・平和問題に関する次の図書を刊行・販売しています。

- ・平和図書 No. 1『ヒロシマ読本』／(公財)広島平和文化センター編／500円(消費税込)
- ・平和図書 No. 6『被爆証言集 原爆被爆者は訴える』／(公財)広島平和文化センター編／700円(消費税込)
- ・『写真集 ヒロシマ』(日英併記)／(公財)広島平和文化センター編／380円(消費税込)
- ・『図録 原爆の絵 ヒロシマを伝える』(和・英文説明つき)／広島平和記念資料館／1,650円(消費税込)
- ・『広島平和記念資料館ガイドブック』／広島平和記念資料館編／500円(消費税込)
- ・『広島平和記念資料館総合図録—ヒロシマをつなぐ—』／広島平和記念資料館編／1,500円(消費税込)
- ・旧公式図録『ヒロシマを世界に』(日英併記)／広島平和記念資料館編／500円(消費税込み)
- ・Hiroshima Peace Reader (英語版『ヒロシマ読本』)／800円(消費税込)
- ・A-Bomb: A City Tells its Story (英語版『広島原爆戦災誌』概略版)／400円(消費税込)
- ・Eyewitness Testimonies: Appeals From The A-bomb Survivors (英語版『被爆証言集 原爆被爆者は訴える』)／1,000円(消費税込)
- ・Hiroshima Peace Memorial Museum Exhibition Guide (広島平和記念資料館ガイドブック(英語版))／500円(消費税込)
- ・Hiroshima Peace Memorial Museum Collection Catalogue—Carrying the Legacy of Hiroshima—(英語版『広島平和記念資料館総合図録—ヒロシマをつなぐ—』)／1,500円(消費税込み)

(2) 販売事業等

広島平和記念資料館東館1階のミュージアムショップにおいて、来館した修学旅行生や国内外の人たちに、原爆・核兵器に関する書籍等を販売しています。取扱商品の種類は書籍の他、バッジ、キーホルダー、絵はがき、DVD、CD、Tシャツ、ミニタオル、一筆箋等です。

ショップではクレジットカードによる支払いが可能です。また、国内への通信販売も行っており、代金を前払いしてご注文いただければ、着払いでお送りします。

〔ご注文〕

公益財団法人広島平和文化センター 総務課(ミュージアムショップ) まで

〒730-0811 広島市中区中島町1番2号

電話 (082) 241 - 5246

FAX (082) 542 - 7941

URL : <https://hpmmuseum.jp/modules/shop/>



ミュージアムショップ
ウェブサイト

(3) 常設展示の解説機器(音声ガイド)の貸出事業

広島平和記念資料館の常設展示を音声で解説する再生機器(「音声ガイド」)の貸出を行っています。

この音声ガイドは、軽量・小型で携帯に便利です。解説内容は、被害の概要や遺品の紹介など64項目で、1項目約1分間、総解説時間は約75分です。来館者の関心、滞在時間に応じてプッシュボタンによって解説項目を選んで聞くことができます。言語は日本語、英語、中国語、ハンデル、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、タイ語、アラビア語、インドネシア語、フィリピン語の14言語に対応しています。日本語音声ガイドでは、遺品を中心として19項目のナレーションを俳優の吉永小百合さんが担当しています。音声ガイドを聞きながら展示資料を見学することによって、広島の実相をより一層理解することができます。

御利用案内

料 金	個人	1台/400円
	団体	1台/350円(30台以上) ※団体の利用は事前に予約が必要
受 付	東館1階 音声ガイド貸出窓口	
予 約	総務課	電話(082)241-5246 FAX(082)542-7941
内容問合せ	学芸課	電話(082)241-4004 FAX(082)542-7941

2 広島国際会議場での収益事業

広島国際会議場の利用者及び来館者の利便性を高めるため、1階予約受付及び地下2階臨時売店で、傘や各種飲食物などを販売するとともに、飲料水の自動販売機を館内に設置しています。

(1) 売店の設置

販売場所	販売品
1階予約受付	傘
地下2階ロビー	各種飲食物

(2) 自動販売機の設置

飲料水：4台

(3) ケータリング業者等の紹介

国際会議場の利用者に対して、ケータリングを行う業者等を紹介しています。

(4) コピー機及びファクスの設置

機 種	台 数
コピー機及びファクス	1台（1階予約受付）

3 広島国際会議場の管理運営

広島市から指定管理者として平成 18 年度（2006 年度）から平成 31 年度（2019 年度）までの 3 期 14 年間の指定を受けて、広島国際会議場の管理・運営を行いました。

また、令和 2 年度（2020 年度）から令和 6 年度（2024 年度）までの 5 年間、引き続き同館の管理・運営を行っています。

- 広島国際会議場の施設利用受付及び貸し出し
- 国際会議などの誘致をはじめとした広島国際会議場の利用促進
- 施設、設備及び備品の管理

（1）施設の紹介

広島市は「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、世界に開かれたまちづくりを推進しています。

広島国際会議場はその拠点施設として、市制施行 100 周年、広島城築城 400 年という節目の平成元年（1989 年）7 月に平和の聖地、平和記念公園に誕生しました。

国際交流の推進と市民文化の向上を図るために設置された国際会議場は、地上 3 階、地下 2 階建延べ面積 2 万 5,000m²、周りとの調和を図るために高さを抑え、その機能の大部分を地下に収納する構造になっており、外部は御影石とガラスで、また内部は大理石と紅葉をあしらった絨毯じゅうたんという造りとなっています。

充実した音響・照明・同時通訳設備をはじめ、残響可変装置により優れた音響効果を発揮するフェニックスホールなど、バラエティ豊かな空間を完備し、国際会議はもちろん、式典、講演会、クラシックコンサートなど様々な催しにご利用いただけます。



広島国際会議場



大ホール（フェニックスホール）



国際会議ホール（ヒマワリ）

主要施設の概要

施設名	用途	収容人員	設備
大ホール (フェニックスホール)	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模な国内・国際会議 ●式典 ●講演会 ●音楽会 ●その他各種催事 	座席 1,504 席	アリーナ形式又はエンドステージ形式 6 か国語同時通訳設備 残響可変装置 音響、照明、映写設備
国際会議ホール (ヒマワリ) 600 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ●国内・国際会議 ●その他各種催事 	U 字形式～200 人 スクール形式～264 人 シアター形式～600 人 (各形式とも、他に傍聴席 198 席あり。)	6 か国語同時通訳設備 音響、照明、映写設備
大会議室 (ダリア) 650 m ²		スクール形式～360 人 シアター形式～720 人 2 分割での使用可。	
中会議室 (コスモス) 350 m ²		スクール形式～180 人 シアター形式～360 人 2 分割での使用可。	4 か国語同時通訳設備 音響、照明、映写設備
小会議室 (ラン) 260 m ²		スクール形式～120 人 シアター形式～260 人 2 分割での使用可。	
会議運営事務室 520 m ² (会議運営事務室ロビー 300 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模な会議 ●会議運営用の事務局 ●プレスセンター (大規模学会等の展示スペース、ドリンクコーナー)	スクール形式～36 人 口の字形式～30 人 ×6 室 (最大 6 分割まで使用可)	音響、照明、映写設備
展示室 (サクラ) 217 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ●学会・イベントに附随する商品の展示やパネル展示 	—	—
カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ●軽食・喫茶 	約 70 席	令和 5 年 4 月 28 日オープン
駐車場	—	18 台	—

(2) 利用方法

① 受付開始日

使用日の 1 年前から受け付けます。

② 受付時間

午前 9 時から午後 5 時まで受け付けます。(ただし、12 月 29 日から 1 月 3 日までは休館日のため、受け付けておりません。)

③ 申込方法

所定の申請書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

④ 利用料金

別表のとおり

⑤ お申し込み・お問い合わせ

広島国際会議場まで

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

電話 (082) 242 - 7777

URL : <https://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>



広島国際会議場ホームページ

利用料金表

(令和5年4月1日現在)

施設名	区分	午前	午後	夜間	午前午後	午後夜間	1日
		9時~12時	13時~16時	17時~21時	9時~16時	13時~21時	9時~21時
大ホール (フェニックス ホール)	平日	円 95,150	円 148,750	円 212,610	円 195,100	円 289,080	円 319,510
	土・日 ・休日	98,870	178,440	223,180	221,800	321,240	350,270
リハーサル室		11,740	18,030	28,820	25,180	36,180	41,730

(注) 上記のほか、控室が5室あります。(1室あたり2,400円)

施設名	区分	午前	午後	夜間	1日
		9時~12時	13時~17時	18時~21時	9時~21時
国際会議ホール (ヒマワリ)		円 103,880	円 138,520	円 138,160	円 342,480
大会議室 (ダリア)	全体	103,880	138,520	138,160	342,480
	1/2	51,940	69,260	69,080	171,240
中会議室 (コスモス)	全体	51,930	69,380	69,120	171,340
	1/2	25,970	34,690	34,560	85,670
小会議室 (ラン)	全体	38,500	51,340	51,210	126,900
	1/2	19,250	25,670	25,610	63,450
会議運営 事務室	全体	55,770	74,330	74,160	183,870
	1/6	9,300	12,390	12,360	30,650
会議運営事務室ロビー		14,140	18,880	18,880	47,460
展示室 (サクラ)		10,150	13,560	13,560	34,090

(注) 商品の展示等に御利用の場合は、会議運営事務室ロビー及び展示室(サクラ)を除き、追加料金をいただきます。会議運営事務室ロビーは、会議運営事務室全体をご利用のお客様のみご利用いただけます。展示室(サクラ)は、フェニックスホールや会議室等をご利用のお客様のみご利用いただけます。詳しくは職員までお問合せください。

(3) 利用状況

① 利用区分数(括弧内の数字は利用率)

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大ホール (フェニックスホール)	60 (7.4%)	153 (25.1%)	355 (33.0%)
国際会議ホール (ヒマワリ)	94 (11.5%)	120 (19.7%)	295 (27.4%)
大会議室 (ダリア)	314 (19.2%)	352 (28.9%)	734 (34.1%)
中会議室 (コスモス)	306 (18.8%)	238 (19.5%)	727 (33.8%)
小会議室 (ラン)	338 (20.7%)	249 (20.4%)	696 (32.3%)
会議運営事務室	165 (20.2%)	176 (28.9%)	481 (44.7%)
展示室 (サクラ)	—	—	(113) (10.5%)
合計	1,277 (17.4%)	1,288 (23.5%)	3,288 (33.9%)

※合計欄には、展示室(サクラ)の数値を含んでいません。

② 主な催事(括弧内の数字は開催日数)

- 第84回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会(4)
- 第61回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会(3)
- 日本糖尿病学会中国四国地方会第60回総会(3)
- 第42回日本看護科学学会学術集会(4)